

令和5年度当初予算抽出事業 調査報告書

(文教厚生分科会 No.2)

(所属課, 事業コード) 事業名	(中央図書館 3123) 図書館運営経費 ※P183	
予算額	令和3年度	66,167千円
	令和4年度	62,728千円
	令和5年度(案)	70,189千円
<p>【事業抽出理由】 (事業を選定した理由) 図書館施設は、地域の文化、教養そして将来の子供にとっても重要な施設である。今後も活用が期待されている中ではあるが、あり方を考える時期にあると考え、本事業を選定した。</p> <p>【事業の妥当性】 (事業の必要性、費用対効果、財源の安定性等) 財源の安定性の観点から、図書館の経費は市全体として予算の大枠が決まっている中で、電算機借上に対する費用が固定化しており、工夫、検討が必要。今後も市として学校図書館の充実を掲げている中であるので、知恵と工夫で予算確保に努めるべき。</p> <p>予算以外での協賛状況として、雑誌スポンサー制度だけではなく、ネーミングライツ等、様々な手法検討が必要。今後の図書館運営に関しても、指定管理制度の検討も必要ではないか。</p> <p>また図書館利用の促進のためには、利用者に対するアンケートをとり、ニーズを把握し、取り組みを進めていくことも必要。</p> <p>【調査結果】 (総括) 例年並みに図書に関する予算が確保されており評価できる。これから高松小中学校の図書館解放が行われる予定であるが、昨今の事件等により防犯などが心配されるところである。事業に関しては利用者の推移をみながら適切に進めていくべき。また利用者に対するアンケートを実施すべきである。</p> <p>新型コロナ対策で図書館から遠ざかっていた利用が戻ってきている中であるので、図書館のイベント設定など、利用促進を図られることに期待したい。</p>		